

| 第46回 エフエム伊東 番組審議委員会 | | | 議 事 録 |
|---|--|-----|----------------------------|
| 会議場所 | 伊東ふれあいセンター 3階会議室 | 日 時 | 平成27年11月18日 16:00～17:30 |
| 出席者 | 番組審議委員： (出席) 河野真一 佐藤文彦 鈴木孝彦 水口 進 森田文明 (欠席) 上山育子 | | |
| <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 番組名： 生放送『伊東のおへそ』内 ゲストコーナー「大熱海国際ゴルフクラブ」 放送日時 平成27年10月29日(木) 午後 5時30分～5時45分 スタッフ： パーソナリティ 遠藤由紀 ゲスト 柏木 (大熱海国際ゴルフクラブ レストランスタッフ) ● 番組概要： 夕方に生放送を行っている情報番組の中で、リスナー及び地元企業や団体の有益性を考慮し、担当者にゲスト出演いただくパブリシティのコーナー枠。今回の「大熱海国際ゴルフクラブ」では、単にゴルフを行う場所という限定的なイメージを払拭し、ゴルフ目的以外でも気軽に利用してもらう為に、地元民の誘客の一環としてレストラン営業を拡充し、併せて施設をゴルフ目的以外のお客様にも積極的に開放しています。地元民向けに利用方法の提案として、担当者を招きご紹介いただきました。 ● 試聴後の意見： <ul style="list-style-type: none"> ● パーソナリティとゲストの音量の違いが気になる。パーソナリティの意識的な抑揚というよりは、パーソナリティ特有のクセなのか、あるいは単にボリューム調整の問題なのか A：ボリューム調整の問題ですが、パーソナリティがゲストの会話に対して興味が薄いように感じさせてしまい、リスナーに対して悪印象を与えてしまうので、注意を促します。 ● 内容が希薄に感じてしまうのは、ゲストとの事前打ち合わせが弱く、アピールポイントが曖昧になってしまっているのではないかと。ただ、重要な部分をパーソナリティが復唱していて印象づけることはできているので、その点は評価できる。 A：ゲスト主導となっている結果、話している内容が右往左往してしまっています。進行に対する内容の打ち合わせが不十分で、まとまりのない構成になってしまっており、何を伝えたいのかの焦点がぼやけてしまっていますので、番組の流れをイメージして、パーソナリティがコメント誘導をする進行を努めるよう、注意を促します。 ● レストランで提供する料理食材で、ゲストが折角の地元ブランドをアピールしようとしているのに、そのコメントを流してしまっており、魅力を引き出すことができていない。 A：事前打ち合わせ不足でもありますが、地元ブランド食材に反応できないというのは、パーソナリティの勉強不足でもあります。普段からの地元に対する意識的な知識の蓄積に心がけるよう指導します。 ● レストランの紹介部分では、暫くした所ではじめてバイキングについて話していたということがわかった。また、バイキングで重要な品数が不明で、パワーアップしているといいながら、これまでとの比較をする表現がないために、どの部分がどの程度パワーアップしているのかわからない。 A：誰もが判断材料として重要視する要素を引き出せていないということは、単一的な会話に終わっており、パーソナリティ自身が実際に行ってみようという気持ちでゲストと話をしていないことの現われでもあります。リスナーの代役であるパーソナリティが、興味深く情報を聞き出すことが重要であり、それを伝えない限り、リスナーにも興味を持ってもらえないということになりますので、事前の情報収集に力をいれるよう指導いたします。 | | | |
| 次回の番組審議委員会 平成27年12月16日(第3水曜日) 16:00より 伊東ふれあいセンターで開催予定 | | | |